

燃油サーチャージなし ◆ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャン。世界遺産スワネティ地方まで訪れるコーカサス3カ国の旅・決定版！◆

カズベキ山を望む絶景ホテル「ルームズ」に宿泊 遥かなる大コーカサスへの旅 15 日間



▲ホテルのテラスからは、目前に聳えるカズベキ山の雄姿をご覧ください。



アゼルバイジャンの首都バクー 旧市街には世界遺産の中世の建造物が残る一方、新市街ではカスピ海油田が産むオイルマネーにより中東のような近未来的なビルが続々と建設され活気に溢れています。



ジョージアの首都トビリシ 旧市街は、岩肌 に貼り付くようにカラフルな家々が並びます。



世界遺産シエキ ハーン宮殿は 18～19 世紀にかけて絹の取引によって築かれたもので、この町のかつての繁栄を象徴した建造物です。



ガルニ 太陽神ミトラを祀った神殿で、王の夏の離宮として使われていました。アルメニアで唯一見られるヘレニズム様式の建築物です。

世界遺産スワネティ地方

その桃源郷は大コーカサス山脈の懐深く、美しい峡谷の中にあります。歴史的に外部と隔絶されていたため、独自の伝統文化が残ります。一番の特色は石で出来た塔状の家。12 世紀に造られたものが多く、この地域には約 200 の塔が残っています。スワネティ最奥のウシュグリでは、雪を被る 5000m 級の大コーカサスの峰々、独特の塔状の家々と緑鮮やかな尾根の美しいコントラストが見られます。まさにこれこそが桃源郷と呼ぶべき光景なのです。



アララト山 世界最古のキリスト教国がアルメニア。アララト山は現在トルコ領ですが、紀元前 1 世紀にアルメニア高原を中心に繁栄した大アルメニアの中心に位置していたことから、アルメニア民族のシンボルになっています。



セヴァン湖 コーカサス最大（琵琶湖の約 2 倍）の湖で、その美しさから「コーカサスの真珠」と呼ばれます。湖に突き出た半島の丘の上には 9 世紀建造のセヴァン修道院が佇みます。

アルメニア正教独特の十字架石碑・ハチュカル↑

カタール航空利用新設定・燃油サーチャージなし

出発日	旅行代金
10 月 6 日（火）	769,000 円
一人部屋利用追加代金	108,000 円

◎利用予定航空会社：カタール航空
◎添乗員：成田空港より全行程同行します。
◎食事：朝食 12 回・昼食 13 回・夕食 12 回(機内食除く)
◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくはお問い合わせ下さい。
◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
◎最少催行人員：10 名（最大 20 名）
◎旅券残存有効期間：ジョージア入国時 6 か月以上
◎旅券査証欄余白：2 頁以上
◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
◎成田空港使用料・保安サービス料：3,160 円
◎国際観光旅客税：3,000 円
◎**燃油サーチャージ：なし**

◆コースのポイント◆

コーカサス 3 カ国の見所を全て網羅した上で、ジョージアの観光を充実させたコース。ジョージア第二の都市クタイシでは、中世ジョージア建築の傑作・世界遺産バグラティ大聖堂とゲラティ修道院を訪問。そして、石造りの塔状の家々が並ぶ、世界遺産スワネティ地方へ。多くの塔状の家が残っているウシュグリ村まで訪れます。

＊数々の伝統料理も楽しみのひとつ＊



アナヌリ ジョージア軍用道路の途中、ジンヴァリ貯水湖畔に 17 世紀に建てられた要塞内にはイエスに捧げた教会とマリアに捧げた教会の 2 つの教会があります。



世界遺産ゴブスタンの岩絵 約 1 万年前の人々が刻んだ岩絵群や古代人の暮らしを伝える貴重な遺跡をご覧ください。



	都市名	スケジュール
1	東京	■夜（22:25）、成田空港より、空路、ドーハ乗り継ぎ、ジョージアの首都バクーへ向かいます。〈機中泊〉 日 日 日
2	バクー	■着後、 バクー市内及び近郊の観光 。国立絨毯博物館○、拝火教（ゾロアスター）寺院○、マンマンディ（ヤナル・ダク）の地表から吹き出る炎○にご案内します。〈バクー泊〉 日 日 日
3	バクー滞在（コブスタン）	■終日、 バクー市内観光 。市内とカスピ海を一望出来る「殉教者の小道」○、12 世紀に造られたと云われる要塞・乙女の望楼○、シルヴァン・シャフ汗の宮殿○など。また、郊外の コブスタンの 岩山に残る石器時代の岩絵○（世界遺産）にもご案内します。〈バクー泊〉 日 日 日
4	バクー（ショマハ）シェキ	■午前、かつては絹の産地として栄えたシェキ（世界遺産）へ向かいます。途中、 ショマハ の町に立ち寄り、王族の墓であるセブン・ドームス○をご覧ください。■シェキ着後、ハーン（汗）の宮殿○など、 シェキ市内観光 にご案内いたします。★夕食は、 アゼルバイジャン料理サジチ をどうぞ。〈シェキ泊〉 日 日 日
5	シェキ（テラヴィ）トビリシ	■午前、国境を越え、ジョージアに入国。カヘティ地方の中心地、 テラヴィ に向かいます。この地域は世界でも名高いジョージア・ワインの産地です。★昼食は、 シャシリク（肉の串焼き） と マッツォーニ（カスピ海ヨーグルト） をどうぞ。■午後、ジョージア・ワインの ワイナリー ○を訪れ、ジョージア・ワインの試飲をお楽しみ下さい。観光後、首都 トビリシ へ。★夕食は、 ジョージア名物シュケメルリ （鶏肉のガーリッククリーム煮）と ジョージア風肉まん・ヒンカリ をどうぞ。〈トビリシ泊〉 日 日 日
6	トビリシ（ハフバット修道院）（セヴァン修道院）エレヴァン	■午前、国境を越え、アルメニアに入国。首都のエレヴァンへ。■途中、世界遺産 ハフバット修道院 ○と サナヒン修道院 ○を見学。また、 セヴァン湖畔のセヴァン修道院 ○にも立ち寄ります。〈エレヴァン泊〉 日 日 日
7	エレヴァン滞在（ホルヴィラップ）（エチミアジン）（ガルニ）（ゲガルド）	■終日、 エレバン近郊の観光 。ノアの箱舟伝説で有名な アララト山 の光景が見渡せる ホルヴィラップ修道院 ○を訪問。世界遺産のアルメニア正教総本山 エチミアジン大聖堂 ○（ 宝教会 も見学）と スヴァルトノツ教会跡 ○、 ガルニ の太陽の神殿○や紀元前 3 世紀の浴場跡○を見学。また、洞窟修道院がある ゲガルド ○も訪ねます。★夕食は、 アルメニア民族音楽 を聴きながら、 アルメニア名物ドルマ をどうぞ。〈エレヴァン泊〉 日 日 日
8	エレヴァン（マルマシェン修道院）ボルジョミ	■午前、赤褐色の石造りが印象的な マルマシェン修道院 ○に立ち寄ります。■その後、再びジョージアに入国。名水の里としてヨーロッパ中に名高い ボルジョミ に向かいます。〈ボルジョミ泊〉 日 日 日
9	ボルジョミメスティア	■午前、 ボルジョミの観光 。中央公園を訪れ、ミネラル・ウォーターの源泉であるエカテリーナの泉○にご案内します。■観光後、 メスティア へ。〈メスティア泊〉 日 日 日
10	メスティア滞在（ウシュグリ）	■終日、 ウシュグリ地域への小旅行 。スワネティ地方独特の、石造りの塔状の家が 一番多く残る地域 です。雪を被る 5000m 級の大コーカサスの峰々、そして塔状の家々と緑の尾根。その光景はまさに桃源郷と呼ぶべき美しさです。ロマリア教会○、ウシュグリ博物館○にもご案内します。〈メスティア泊〉 日 日 日
11	メスティアクタイシ	■午前、クタイシへ。■午後、クタイシの町を見下ろす丘の上にある バグラティ大聖堂 ○、内部に施された壁画が美しい 世界遺産・ゲラティ修道院 ○（修復中のため遠望）をご覧ください。〈クタイシ泊〉 日 日 日
12	クタイシ（ゴリ）トビリシ	■午前、スターリンの生地 ゴリ に立ち寄り、スターリン博物館○と生家○を見学します。その後、トビリシへ。■午後、 トビリシ市内観光 。 シオニ寺院○、メテヒ教会○、ピロスマニの作品も所蔵するナショナル・ギャラリー○など。〈トビリシ泊〉 日 日 日
13	トビリシ（ムツヘタ）（アナヌリ教会）（十字架峠）カズベキ	■午前、旧都 ムツヘタ の観光。ジュワリ寺院○、スヴェティツホヴェリ教会○など。観光後、ジョージア軍用道路をドライブ。途中、内部のフレスコ画が素晴らしい アナヌリ教会 ○に立ち寄ります。その後、最高地点 2,395 m の 十字架峠 ○に立ち寄り、コーカサス最高峰のカズベク山（5,047m）を望むカズベキ村へ。★ 宿泊は、ホテルから迫力あるカズベキ山を一望出来るホテル「ルームズ」です。 【カズベキ絶景ホテル・ルームズ泊】 日 日 日
14	カズベキ（ツミンダ・サメバ教会）トビリシ	■午前、四輪駆動車に分乗し、山の上にある ツミンダ・サメバ教会 ○を訪れます。その後、ジョージア軍用道路をドライブし、トビリシに戻ります。★昼食は、ジョージア料理 ハチャプリ （ジョージア風ピザ）をどうぞ。■午後、トビリシに戻ります。■夜、空路、ドーハ乗り継ぎ、帰国の途へ。〈機中泊〉 日 日 日
15	東京	■夜（19:10）、成田空港着。通関後、解散。

※ジョージア入国に際し、海外旅行保険加入が義務付けられています。英語表記の保険契約証明書をご持参下さい。
※各地の伝統料理は別の日にご提供させていただく場合もございます
※教会、修道院などは、ミサや巡礼の時期、その他の理由で入場出来ない場合がございます。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時・夕食時にドリンクウォーター（飲用水）をサービスします。